

日本共産党杉並区議会議員

# くすやま美紀(樟山みき)活動報告

2023. 3. 16 NO. 371

連絡先 荻窪5-15-19-704

☎ 080-5531-8236

区議会控室 ☎ 3312-2111 (内) 2319



↑ホームページ



## 物価高騰対策、就学援助の対象拡大、補聴器購入費助成など 岸本区長 初の予算 賛成多数で成立

### 一般会計予算に対する各会派の賛否

会派・人数	自杉	公明	自民	共産	立無	平和	無維	革新	正理	杉わ	共生	杉耕	無	自
	(9)	(7)	(6)	(6)	(4)	(4)	(4)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)
賛否	○	○	×	○	○	○	×	×	○	欠	○	○	×	×

会派の正式名称：自杉/自由民主党杉並区議団、公明/杉並区議会公明党、自民/杉並区議会自由民主党、共産/日本共産党杉並区議団、立無/立憲民主党・無所属クラブ、平和/いのち・平和クラブ、無維/自民・無所属・維新クラブ、革新/都政を革新する会、正理/正理の会、杉わ/杉並わくわく会議、共生/共に生きる杉並、杉耕/杉並を耕す会、無/無所属、自/自民党  
賛否：○/賛成、×/反対、欠/欠席 ※自杉9名のうち1名は議長のため、賛否に加わったのは8名。

### 妨害跳ね返し 新たな前進へ 共産党区議団も予算に賛成

第1回定例会は、3月15日閉会しました。

岸本区長が提案した一般会計予算は、日本共産党区議団を含む賛成多数で可決されました。

前・田中区長を支持する勢力（杉並区議会自由民主党）は、岸本区政スタート以来、質問のたびに卑劣な攻撃を繰り返し、区政の前進を妨害してきました。

今回の予算成立は、こうした動きを跳ね返した結果で、区民が選んだ区政の新たな前進をひ

らくものです、予算には自由民主党杉並区議団、杉並区議会公明党も賛成しました。

### 拡充に向けて積極提案

日本共産党区議団は、予算に、就学援助の認定対象の拡大、高齢者への補聴器購入費助成等が盛り込まれるなど、福祉優先の区政への新たな一歩を踏み出す予算として、積極的に賛成しました。

同時に、物価高騰対策の充実、家賃助成の来年度実施、国保料抑制へ繰出し金の拡大など、くらし・福祉の拡充に向けて、積極的に提案を行いました。



新年度予算採決の様子。  
(傍聴者提供)

### 学校給食費の無償化 区教委 3月中に結論

学校給食費の無償化について、共産党は代表質問で早期実施を求め、区長も「早急に検討を進め結論をだす」と答弁しました。

私は、予算特別委員会でも、9区が来年度実施（部分実施も含め）となっており、杉並区でも早期の実施を求めました。

教育委員会は「今年度中に結論を出し、来年度、全庁的に検討し、早急に結論をだしたい」と答弁しました。

区民の世論で無償化の早期実施を実現させましょう。

お困りごと・ご相談は、お気軽に上記連絡先まで、お電話ください

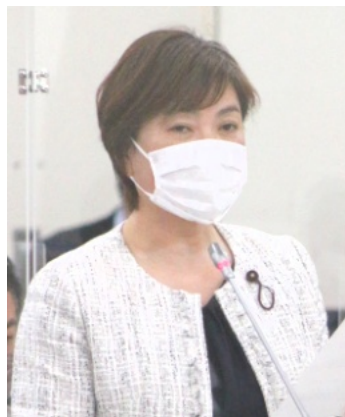
予算特別委員会で、国民健康保険料、文化芸術振興について質問しました。

## 国民健康保険料 値上げ抑制求める

物価高騰が深刻なときだけに、国民健康保険料の値上げ抑制が求められていました。

区は、都に納める納付金の増大に対し、保険料にける納付金額を7.6%減額し、値上げ抑制の努力をしました。

しかし、提案された保険料は一人当たり年額18万2171円となり、家計への影響が大きいものです。区独自のさらなる値上げ抑制を求め、条例改正の議案には反対しました。



今回の値上げの要因はコロナ禍による医療給付費増加によるものですが、国と都がまったく財政支援をしなかったことは許されません。

## 芸術振興計画策定を提案

一昨年の予算特別委員会で、杉並区には、区ゆかりの作家、美術家が多数いながら文学館も美術館もない実態を告発。

今回の質疑では、美術館設置を求める区内在住の著名な日本画家からの葉書を紹介し、美術館の設置検討を求めました。

あわせて、他区を参考に芸術振興計画の策定を提案。区は「今後の課題」と答弁しました。

## 高齢者補聴器購入費助成制度

■対象 杉並区に住所を有する65歳以上で、医師に必要性を認められた者

### ■助成額

- 購入額（助成基準額13万7千円以内）に住民税の課税・非課税での助成比率をかけた額。
- 住民税非課税世帯 購入費の3分の1（上限額 4万5700円）
- 住民税課税世帯 購入費の6分の1（上限額2万2900円）
- 実施予定 2023年6月

## 照明LED化助成 対象拡大

■これまで 区内事業所を対象に照明LED化に対し半額助成（上限30万円）。ただし 事業主は区内在住が要件。

■対象拡大 事業主が区内在住でなくても助成対象に拡大

## 新年度の主な新規・拡充予算

○聴くオフ・ミーティング （年5回→10回に拡大）	350万円
○感震ブレーカー設置加速化等	185万円
○障害・介護・保育施設等への 食糧・光熱水費支援	3億8,510万円
○学校給食費保護者負担軽減	4,617万円
○高齢者補聴器購入費助成	460万円
○带状疱疹ワクチン接種助成	943万円
○ヤングケアラーの支援	689万円
○子どもの権利擁護の推進	1,200万円
○パートナーシップ制度の実施	170万円
○就学援助対象者の拡大	3億8,487万円
○気候区民会議の開催検討	48万円
○グリーンスローモビリティ導入に向けた 取組	1,119万円